

2012年5月

恵泉だより VOL.19

Keisen University

恵泉は教育についてこう考えている

「自立する女性」を育てる、 「面倒見の良い大学」へ

恵泉は変わりつつある。たとえば従来は「平和をめざす女性」の言葉を大学に冠し、名刺などに印刷していた。これは第二次世界大戦になだ



れ込んでゆく時期に学園を立ち上げた創設者・河井道が、女性への平和教育を重視していたことに起因する。

その言葉に変えて4月に新学長に就任した川島堅二は、自らが統督する大学の理念として「自立する女性の大学」を選んだ。

それは恵泉が現在進めている大学改革とも繋がりがあ

三つの自立と 恵泉教育

新学長・川島は三つの「自立」を考えている。まず経済的自立。職を得て、あるいは自ら起業して自立する女性を育成すべく恵泉はキャリア関係科目の充実を図ってきたが、大学改革では更にそれを強化する。

女性のライフコースは男性とは異なり、どうしても出産・育児期間に離職する率が高い。そのため新卒で就職させるだけでなく、子育てが終わった後に再就職できる力、あるいは子育てをしながら社会的な活動が続けられる力を身につけさせる教育が必要だ。そこで女性の一生を視野に入れたカリキュラム設計を、キャリア科目だけでなく全ての科目の配置で意識した。

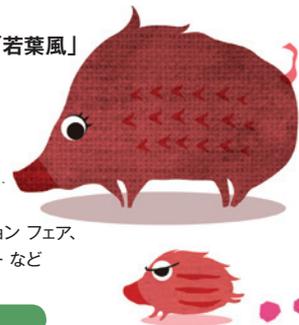
川島が考える二番目は精神的自立だ。多様な人生の局面に
(裏面へ続く)



KEISEN SPRING FESTIVAL 2012
恵泉スプリングフェスティバル
5/26(土) 10:00~16:00 (入場は15:30まで) | 多摩センター駅下車
スクールバス 8分

- ★ 花芸安達流・二代主宰安達瞳子によるデモンストレーション「若葉風」
 - ★ 祈り ~フクシマからのメッセージとハンドベルの調べ~
 - ★ 「恵泉やさい」の販売
 - ★ 華道部 花展
 - ★ オーガニックカフェ・ショップ
 - ★ 体験学習 実施報告
 - ★ その他 メイボールダンス、イングリッシュ コミュニケーション フェア、留学生と話そう、樹木ツアー、キッチンガーデン・農場ツアー など
- ※プログラムの詳細は、本学ウェブサイトをご覧ください。

オープン
キャンパス
同時開催!



どなたでもご参加いただけます

自立した女性を育てる



恵泉女学園大学

(2013年4月 改組構想中)

人文学部

- ◎日本語日本文学学科
- ◎英語コミュニケーション学科
- ◎歴史文化学科
[文化学科]より改称(届出準備中)

人間社会学部

- ◎国際社会学科
- ◎人間環境学科
- ◎社会園芸学科(届出準備中)

お問い合わせは入試広報室まで

〒206-8586
東京都多摩市南野2-10-1
TEL. 042-376-8217
E-mail. nyushi@keisen.ac.jp
http://www.keisen.ac.jp



恵泉流フルサポート宣言!



において活躍できる力を生かすのはもちろん学生たち自身である。世間の風向きに惑わされず、主体的に自分の人生を選ぶ。そんな女性を育成すべく、今回の改革では特に初年次、二年次に実践経験を積むプログラムを重点的に配置した。自らの行為、選択がいかなる社会的影響をもたらすか、学生は様々な現場で実経験を通じて学ぶ。その経験は実力を身に付ければ自分の人生をよりよくできるし、社会の改善にも貢献できるという自信を学生に与え、専門の学びへの動機づけに繋がると共に、自らの選択に責任を持つ自立した精神を養う。

しかし、自立とは孤立ではない。川島新学長は「孤立ではない自立」を敢えて三つめの自立として掲げる。人は社会的存在であり、相互扶助なしには生き得ない。「個としての自立」とともに人間関係を築く力や他と共生する力を身につけてこそ平和構築が可能となる。

その一環として今回の改革では、社会園芸学科を人間環境学科から独立させた。それは恵泉の園芸教育が園芸を通しての「人づくり」、つまり人間形成と人間関係形成に重点を置いたものであることを明確に示すためである。また国際社会学科においては東アジアコースを設けた。留学生とともに英語を用いた授業を通して共生力を身につけることを目標とする。

「自立する女性の大学」という言葉は、「平和をめざす女性」の育成を改めて自らに誓ったものなのだ。

自立を支える面倒見のよさ

もうひとつ、大学の特徴を示すキーワードとして、入試広報では、「面倒見」を使い始めた。これは、高校の進路担当の先生方へのアンケート調査(大学通信)で「面倒見が良い」大学として上位にランキングされたからである。教職員が個々の学生と向きあって、それぞれの個性に合わせて最適化した教育を少人数制ゼミ中心に行う、いわゆる「個別主義教育」を展開してきたことが評価されたものと考えられる。大学の特徴を示すキーワードとして入試広報の機会に用い始めてもいる。

しかし、恵泉の面倒見の良さ、そして個別主義教育とは、ただ丁寧な手取り足取り教えることではない。必要な時にはもちろん懇切丁寧な指導を行う。だが学生が悩み、一人で考えようとしている時、一人立ちしようと努力している時には少し離れて静かに学生の自立を見守る。大学教育における面倒見の良さは、その時々において必要な距離で学生指導に当たる配慮を伴うものだろう。



恵泉は個別指導教育の方法をフル活用する大学改革を経て、「自立した女性」を育てる「面倒見のよい大学」へと、名実ともに変わろうとしている——。詳しくは6月2日開催の大学説明会や大学案内でお伝えします。

文責：日本語日本文化学科 教授 武田 徹

「恵泉だより」では高校生、大学生に関わる教育上の諸問題を取り上げています。本学の取り組みや教育の特徴を紹介しつつ、先生方と問題意識を共有し、その対策などについて共に考えていくものになりたいと思っています。この企画を充実させるための試みとして、教育現場でご活躍中の先生にご登場

いただいております。こうした試みを温かく受け止め、今後とも多くの先生方が協力下さいますことを切に願ういたします。何卒よろしく願いたします。なお、本レターの送付を望まない場合は、お手数ですが、入試広報室までご連絡ください。【入試広報部長 谷本 寿男】

大学説明会・キャンパス見学会のご案内

部分参加も可能です!

高等学校の先生方を対象とした大学説明会・キャンパス見学会を下記の通り開催いたします。学事ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、よろしければ本学の教育をご理解いただきます機会として出席ください。

日時 **6月2日(土) 14:30~18:30**

場所 **【第一部】………本学**

**【第二部・第三部】…京王プラザホテル多摩
(多摩センター駅より 徒歩3分)**

プログラム

【第一部】キャンパス見学会 (14:30~15:30)

【第二部】大学紹介・入試結果・入試変更点 (16:00~17:00)

【第三部】個別相談・懇親会 (17:00~18:30)

◎お申込は入試広報室まで電話またはFAXでご連絡ください。

TEL. 042-376-8217 FAX. 042-376-8604

ご出席いただける場合は、以下にご記入のうえ、FAXしてください。 **FAX 042-376-8604**

高校名		
氏名		電話番号